

第25回世界スカウトジャンボリー（25WSJ）派遣 派遣員募集要項

4年毎に開催される世界スカウトジャンボリーの第25回大会は2023年に大韓民国の全羅北道セマングムで開催される。

派遣員は、この大会の期間中、世界スカウト機構（WOSM）に正式加盟している172の国と地域を代表するスカウトと野営生活を共にしながら親善交歓をはかり、様々なプログラムへの参加を通じて世界友情を築き、多くの国の参加者との国際交流と国際理解を深めると共に日本への関心と理解の高揚に努める。

また、2015年に日本で開催した第23回世界スカウトジャンボリーの経験を活かし、大会の成功に貢献する。

事業名称： 第25回世界スカウトジャンボリー（25WSJ）派遣
（25WSJ：25th World Scout Jamboree）

テーマ： 「あなたの夢を描こう」
“Draw your Dream!”



派遣期間： 2023年8月 1日（火）～8月12日（土）12日間（参加隊標準日程）
2023年7月29日（土）～8月14日（月）16日間（IST）
*旅行手配、航空便等の事情により出発日と帰国日が前後することがある

派遣先： 大韓民国 全羅北道 セマングム

派遣人員： スカウト1,260人 参加隊指導者140人、（35隊・1,400人）
（予定） 派遣団本部員（CMT）30人以内、
国際サービスチーム員（IST）140人以内、合計1,570人
（派遣人員・参加隊数は、実際の応募人数により増減し、一部を除き地域性を考慮した隊編成を進める）

派遣経費： （1）今回の派遣は、地域性を考慮した参加隊あるいは分団ごとに出発地が異なるため、派遣経費は「日本派遣団共通経費」と「出発地別経費」の合計となる。

（2）「日本派遣団共通経費」は、25WSJ大会参加費（約11万円）、支給品、各種資料、各種手数料、業務委託費用等の経費（約4万円）に充当され、大会参加費送金等の後に確定するが、15万円とする。

（3）「出発地別経費」は、出発・帰国地、派遣日程により異なり、準備訓練経費、利用航空便等に充当する。今後航空便等の手配の後に確定する。（2022年8月の成田発着エコノミークラス正規割引運賃の場合、税金・燃油特別付加運賃等を加え約9万円、これに2回の準備訓練経費と出発地まで移動、現地経費等を加えると約13万円が見込まれる）

（4）派遣経費には、服装・備品等に要する経費、派遣期間中の小遣い、準備訓練会場往復交通費等を含まない。これらは、個人の追加負担となる。

（5）派遣員内定後、派遣経費のうち「日本派遣団共通経費」は、所属の県連盟を通じて2022年8月31日までに納入する。「出発地別経費」は、所属の県連盟あるいは日本連盟から別途案内する。（詳細は別項参照）

派遣日程：（一例で前後する場合がある）

<参加隊・派遣団本部員>

- 2023年7月29日(土) 分団・隊毎に2泊3日（事前準備により1泊2日）の出発直前準備訓練を行う
- 7月31日(月) 分団・隊別準備訓練、結団式、壮行会（一部31日に出発）
- 8月1日(火) 各出発地から仁川空港等に向かい、大会バスで大会場に移動する
第25回世界スカウトジャンボリーに参加
- 8月12日(土) 大会バスで大会場を退去し、仁川空港等から帰国し解散（出発同地）

<国際サービスチーム員（I S T）・先発派遣団本部員>

- 2023年7月28日(金) 準備訓練、結団式、壮行会（成人I S Tで訓練を終えた者を除く）
- 7月29日(土) 成田空港等から仁川空港に向かい、大会バスで大会場に移動する
（成人I S Tで事前に訓練を終えた者は事前承認により現地集合）
- 7月30日(日) 25WSJのI S T訓練に参加
- 7月31日(月) 25WSJのI S T訓練後に業務開始
- 8月1日(火) I S T業務・参加隊の受入
第25回世界スカウトジャンボリーにI S Tとして参加
- 8月12日(土) I S T業務・参加隊の送り出し
- 8月13日(日) I S T業務最終日
- 8月14日(月) 空路仁川空港発、成田空港等に帰国し解散
（成人I S Tで現地集合者は各自の手配で帰国）

応募資格： 次の3区分により、それぞれの各項を満たしていること。

(1) 大会参加スカウト（ボーイスカウトおよびベンチャースカウト）

- ① 2005年7月22日から2009年7月31日までに生まれた者
- ② 2021年度から継続して登録している者
- ③ 原則として応募時点において、1級章以上を取得している者（応募時点でこれを満たせない場合は、2023年3月末日までに条件を満たすこと）
- ④ 心身ともに健康で、長途の海外派遣に耐える体力があり、かつ派遣団員としての行動がとれる者
- ⑤ 障がいスカウト隊は編成しないが、障がいのあるスカウトの応募資格については、別途考慮する

(2) 参加隊指導者

- ① 2023年4月1日現在、満20歳以上の成人指導者
- ② 2021年度から継続して登録している者
- ③ 原則として応募時点で隊指導者基礎訓練課程（2013年度以前はウッドバッジ研修所）を修了している者（応募時点でこれを満たせない場合は、2023年3月末日までに条件を満たすこと）
- ④ 心身ともに健康で、長期の海外派遣に耐える体力がある者
- ⑤ 日常会話以上の英語語学力（英検2級程度以上）を有する者（配属サブキャンプで全指導者が毎日英語で行われる役務別打合会に出席し、日本隊に連絡する必要があるため）
- ⑥ 派遣団・隊指導者としての役務を果たし、またスカウトを指導するに適した経験と人柄を有する者
- ⑦ ①の年齢未満で③の要件を満たさない場合は、2005年7月21日以前に生まれ、ボーイスカウト講習会を修了し、かつ⑤以上の英語語学力を有する者（参加隊に英語語学力を有する指導者が不足する場合、女子スカウトを含む隊の女性指導者がいない場合に副長補の候補者となる）

(3) 国際サービスチーム員（I S T）

- ① 2005年7月21日以前に生まれた指導者またはローバー・ベンチャースカウト
- ② 2021年度から継続して登録があり、応募時点で隊指導者基礎訓練課程（2013年度以前はウッドバッジ研修所）を修了している者（ベンチャースカウトを除く）
ただし、25WSJで活用できる特技により応募するときは、特に認められれば隊指導者

基礎訓練課程修了を必要としない(ベンチャースカウトはこの応募となる)

- ③ 心身ともに健康で、長途の海外派遣に耐える体力があり、国際サービスチーム員の業務を担当するに適した語学力(英語またはフランス語)・技能・経験と人柄を有し、PCあるいはスマートフォン等で諸手続き・連絡に対応できる者

(4) 派遣団本部員 (一部公募)

- ① 2005年7月21日以前に生まれた指導者またはローバー・ベンチャースカウト
- ② 2021年度から継続して登録があり、応募時点で隊指導者基礎訓練課程(2013年度以前はウッドバッジ研修所)を修了している者(ベンチャースカウトを除く)
ただし、25WSJ日本派遣団で活用できる特技により応募するときは、特に認められれば隊指導者基礎訓練課程修了を必要としない(ベンチャースカウトはこの応募となる)
- ③ 心身ともに健康で、長途の海外派遣に耐える体力があり、日本派遣団の業務を担当するに適した語学力・技能・経験と人柄を有する者

派遣団の編成：

- ① 派遣団本部員は、日本派遣団本部の運営、参加隊とISTへのサポート、または派遣団提供プログラムを担当する。大会規定による本部人数枠を考慮し、25WSJ派遣実行委員会が目的に沿った人選を行う。
- ② 日本派遣団は、派遣団本部員(30人以内)、国際サービスチーム員(140人以内)、および参加隊35隊(1隊40人、計1,400人)による編成を予定するが、隊編成については県連盟が推薦するスカウト数と地域性を考慮した調整を行うため、参加隊数の増減がある。
- ③ 参加隊は、1隊あたり参加隊指導者4人(隊長1人、副長3人)およびスカウト36人(1班9人×4班)で、可能な限り同一県連盟あるいは近隣の県連盟のスカウトにより構成する。
- ④ 女子スカウトが参加する場合は、所属隊に女性指導者を配置する。
- ⑤ 県連盟別スカウト数は、県連盟からの事前希望調査を参考にし、実際の推薦数により調整を行う。
- ⑥ 参加隊指導者と国際サービスチーム員は、一部指導者を指名する他は、公募により選考を行う。
- ⑦ 国際サービスチーム員については、大会ウェブサイトで仮申込を行える場合があっても、主催者から各国スカウト連盟に対し、選考結果の確認がなされるので、本募集要項に基づく応募手続きを行い、日本派遣団員として内定されなければ参加できない。内定者の大会参加申込手続きは日本連盟が行う。

参加申込み・派遣員の選考：

- (1) 参加希望者は、各々の組織を通じて、所属県連盟の指定する期日までに所属県連盟に申し込む。
- (2) 県連盟は、申込者を選考(面接を含む)の上、日本連盟に2022年6月30日までに必要書類(指導者・スカウト別海外派遣参加申込書、健康調査書、県連盟面接結果通知書、いずれも所定の書式、各一通)を添え、推薦する。
- (3) 県連盟から日本連盟に推薦する人数は制限しない。ただし、2人以上を推薦する県連盟にあつては、**応募区分別**に県連盟の推薦順位をつける。
- (4) スカウトについては、日本連盟は県連盟の推薦を尊重し、県連盟から提出される「面接結果通知書」に基づき書類選考を行い、2022年7月にスカウトの選考結果を通知する。参加隊指導者については、県連盟の選考に加えて、必要に応じて日本連盟がオンライン面接を行い、2022年8月に選考結果を通知する。
- (5) 国際サービスチーム員又は派遣団本部員への応募者は、(2)に示す必要書類に加え、「特技」(得意分野を含む)と「語学力」を示す文書(書式自由)を添付する。

- (6) 国際サービスチーム員および派遣団本部員への応募者には県連盟の選考に加えて、日本連盟がオンライン面接を行う。選考の結果により、応募区分と異なる区分で内定することがある。
(例：国際サービスチーム員応募者が派遣団本部員となることがある)

派遣経費の納入：

派遣員内定者は派遣経費のうち「日本派遣団共通経費」**15万円を2022年8月31日まで**に所属県連盟を通じて納入する。「出発地別経費」の納入については、所属県連盟あるいは日本連盟から金額と納入期限を別途案内する。

一端納入された「日本派遣団共通経費」は、内定辞退があっても返金されないが、交替は別に定める期日まで認められる。また、「出発地別経費」については、旅行手配の条件により取消料等が別に定められる。

準備訓練：

派遣内定者は、2022年10月以降に日本連盟が行う準備訓練に参加しなければならない。

派遣員内定者の任命：

日本連盟は、派遣内定者が準備訓練（隊・班訓練を含む）を終え、所定の手続きを完了した後に派遣員として任命する。

派遣員内定者は、韓国入国に必要なワクチン等の接種（アレルギー等の事情がある場合を除く）を受けなければならない。また、参加隊指導者、国際サービスチーム員、派遣団本部員は、指定された期日までに、大会が定める世界スカウト機構（WOSM）あるいは大会が提供するセーフ・フロム・ホーム等の研修プログラムを修了しなければならない。

その他：

① 派遣の中止

以下の様な場合には、当該派遣が中止されることがある。

- 災害等による大会の中止（大会参加費が返金されない場合がある）
- 外務省による、渡航先国または地域への渡航延期勧告または危険情報の発出等
- 同、新型コロナウイルス・SARS・鳥インフルエンザ等の感染拡大情報の発出等
- その他、派遣実施に支障があると判断された場合

② 派遣参加における個人情報と写真・映像の取り扱い

- 参加申込みにあたりご提供いただいた個人情報は、派遣員選考と、派遣員内定後の相互連絡や名簿の作成、および派遣に関する情報の提供を目的として使用する。
- 個人情報のついては、個人情報の保護に関する法律に基づき適切に取り扱い、派遣終了後には速やかに破棄する。
- 派遣の記録用として撮影した画像、映像はすべて公益財団法人ボーイスカウト日本連盟に帰属することとする。
- 参加者の写真や映像は、日本連盟の各種ニュース、派遣団報告書、ホームページ等の派遣の記録に使用するほか、スカウティング誌、各種パンフレット等のボーイスカウト運動普及・振興のために使用する場合がある。
- 使用に際しては、できる限り個人の特定ができないよう配慮する。

③ 第2次募集は行わない

- 25WSJ組織委員会への納入期限後は大会参加費が増額されることから、2022年6月30日の県連盟から日本連盟への推薦締切日で定員を満たさなかった場合であっても、第2次募集は行わない。

この派遣に関するホームページ <https://www.scout.or.jp/member/25wsj/>

以上